

## 引き続き御協力をお願いします

何年ぶりかの大雪で始まった3学期。今年はや暖冬と言われ

続けた例年とは違って寒さの厳しい冬かと思いきや、大寒を迎えると比較的暖かい日々。冬であることには違いはないものの、日々の気温の変化に戸惑いを感じる1月でもありました。そんな中、感染症は勢いが衰えることなく、反対に下関市としての対応レベルも上がるなど、御不安な思いも加速したことだと思えます。感染症への各御家庭での御協力、大変ありがとうございます。改めまして市教育委員会よりお知らせのありました次の点につきまして、再度、御協力の程よろしくお願いいたします。

- 毎朝の検温及び風邪症状の確認（健康観察カードへの記入）
- 本人に発熱等の風邪の症状がある場合には、登校させない。
- 本人が無症状であっても、同居する家族が体調が悪いときには、登校させない。
- 本人が無症状であっても、同居する家族が濃厚接触者に指定されたときには、学校に連絡するとともに自宅待機を検討する。



学校においても、登校後の健康観察、手洗い・手指消毒の徹底、また、こまめな換気に努めております。特に今の時期はストーブを使用しながらも、換気をしています。ストーブを使用してはいますが、例年と違い室温が低下しがちです。お子さんの体調に合わせて、授業中も防寒着や長ズボン等の着用も認めています。お子さんと相談され、日々の服装を調整されてみてください。



## 多くの方々の支えの中で

私の朝一番の仕事は、登校中の子ども達の様子を見に行くことです。子ども達に「おはようございます」と声をかけながら、『今日も元気だ』『あれ、挨拶がかえってこなかったな？』『今日は顔を見ないけどどうしたのかな？』『昨日はお休みだったけれど、今日は元気に来たな』と通学路の途中に立ち、過ごします。5月の学校再開後からほぼ毎日の取組ですが、子ども達以外にも様々な地域の方々に出会います。中学生や高校生、見守り隊の方々、様々な方々が「おはよう！」と子ども達に声をかけてくださいます。登校班と一緒に歩いてくださる方もいらっしゃいます。特に1月8日の大雪の日は、多くの方々が見守ってくださいました。本当に感謝、感謝です。

また、歩いている最中には、玄関先でお子さんを見送る姿もよく目にします。手下げ袋や安全帽を手渡し「いってらっしゃい」と声をかける姿。中高生のお子さんがいらっしゃるのでしょうか。玄関先で朝露にぬれた自転車のサドルやハンドルを拭いてあげる姿。家の庭やベランダから登校するお子さんに手を振る姿。どの光景を見ても心が温かくなり、私の朝の見守りは得るものが多く、とても有意義な時間となっています。

明日は節分（2月2日が節分になるのは124年ぶりだそうです）、そして3日は立春、少しずつ暖かくなっていく日々です。保護者の皆様、地域の皆様、これからも子ども達の見守りをどうぞよろしくお願いいたします。



**メールは届いているでしょうか？** 緊急時の連絡をはじめ、学校からメールのみでお知らせしていることもあります。（1月は9件のメールを発信）

アドレスを変更したり、スマホ契約会社を変更したりすると届かなくなります。現在、届かない方は担任まで御連絡ください。